

(令和2年12月5日)

12月4日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内133例目(県内153例目)となる感染者が確認されました。

この方は松江市在住、70歳代の女性の方でございます。

12月3日に公表しました市内131例目の方の濃厚接触者として、12月4日に検査を行った結果、陽性が確認されたものです。

この方は濃厚接触者であることが判明した12月3日より、保健所の指導の下に自宅で待機し、12月4日、感染症対策を講じた医療機関に入院しました。

この方の濃厚接触者は、今のところいないものと考えています。

133例目の方は入院前、咳と嗅覚(きゅうかく)障害の症状が継続していましたが、軽症です。

松江市においては、断続的な感染者の発生が見られていますが、感染経路が把握できています。

市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」や「換気と加湿」にお取り組みいただくとともに、年末に向けて機会が増える飲食の場面は感染リスクが高まる点などに留意いただき、会食の際にも、会話時にはマスクをつけるなど、感染予防に引き続きのご協力をお願いいたします。

最近の市内の感染例から、県外への移動がある方や県外の方との接触がある方は、特に感染予防に気を配る、健康管理を徹底するなどの取り組みをお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。